

ISECLの記号は、情報学教育協働学習環境のコードです。
Textbookの数字は、教科書のユニット番号です。

情報倫理とモラル

教科書：松原（2014）ソーシャルメディア社会の教育，開隆堂.

情報倫理とモラル

- 道徳と倫理の共通点
- 道徳と倫理の相違点
- 「道徳」概念に与える「道徳教育」の影響
- 「倫理」概念に与える「倫理学」の影響
- 「道徳」と「倫理」の概念の図式化
- 「情報モラル」と「情報倫理」

道徳と倫理

	道徳	倫理
広辞苑 (※1)	①或る社会で、その成員の社会に対する、或いは、成員相互間の行為を規制するものとして、一般に承認されている規範の総体。法律のような外面的強制力を伴うものではなく、個人の内面的なもの。②老子の説いた恬淡虚無の学。	①人倫の道。実際道徳の規範となる原理。道徳。②倫理学の略。「倫理学」は次の通りである。(ethicsに井上哲次郎があてた訳語)道徳の起源・発達・本質・規範について研究する学問。論理学(または認識論)・美学とならぶ哲学の三大部門の一とされている。
哲学辞典 (※2)	社会的意識の一形態としてあらわれ、人びとの相互の、また社会にたいする各人の、なすべき義務を規定して、共同生活における人びとの行為の基準(善悪・正義不正義など)を指示する。(以下略)	「倫理」という項目はない。「倫理学」は次の通りである。人間生活の望ましい状態・善悪について考察し、行為の規則をたて、努力するに値するものは何か、生活の意味とは何かなどを明らかにするとともに、道徳なるものの起源、道徳の規則をたてる法則、その歴史的な性格などを研究する学問。

道徳と倫理の概念比較

行為指向 →

		道徳	
(希薄)	道	徳	
規範の原理	規範 行為の基準 秩序	規範が個人に内在 している	頭の中でわかって いるだけではなく、 容易に実行できる までに身につけて いる
理		倫	(希薄)
倫理			

← 知識指向

メニュー

次に進む ※これより先は非公開です。

PUSH

情報学教育協働学習 (ISECL) へ戻る

PUSH

情報学教育ポータルサイト (ISEPS) へ戻る

PUSH

松原研究室へ

PUSH

情報学教育の展開編

※これより先は、非公開です。